

---

# おっぱい

美希マコト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

おっぱい

### 【コード】

N2016T

### 【作者名】

美希マコト

### 【あらすじ】

精霊会議が始まるよ！！！！！！！

(前書き)

タイトルは……『おっぱい』です。

「ちょっとまで、このタイトルはだめなんじゃないか!？」

「んー、僕も同感」

「だよね!?!いくらなんでもダメだよね!?!」

「ええやん、ええやん今回はコレでいこうや」

「わしも、これでいいと思うぞ」

「えええええ!?!なんですか!?!???ダメでしょ、18禁マークでしょう!?!」

「んー、僕もそこが心配」

「大丈夫やて、直球すぎて……もう、なんか、1周回ってOKやつて!?!な爺さん!?!」

「そうじゃな、清々しいくらいにど真ん中じゃから、卑猥に思ってしまうのは、中学生までじゃな」

「いやいやいやいやいやいや、ダメですって!?!きつとその中学生もいるんですよ!?!」

「んー、そうだよな」

「もう、自分うるさいなあ。中学生がちょっとエッチな内容かと思つて開いてみたら罰当たりましたで良い薬やないか!?!なあ爺さん!?!」

「そうじゃな、現代の子供たちはインターネットの存在によって気軽にエッチな情報を受け取る事ができてしまう恐ろしい社会じゃ!?!わしが子供の頃なんかは」

「だったらせめてタイトル変えましょう!!」  
「エッチな人にはお注  
射よ(ナース)」とかにしときましよう!!」

「……………」

「自分センスないなあ」

「僕もそのタイトルは無いと思うな」

「若者の性の乱れは重大な問題であり」

「じゃ、じゃあ何にしたらいいんですか!?!」

「だあかあらあ!!」  
「おっぱい」  
「言うてるやろ!?!」

「んー、もうそれでいいんじゃないかな」

「だーめ!!ダメです、絶対いかんですって!!」

「んー、やっぱり僕も反対かなあ」

「エッチを軽々しい気持ちでするのは絶対いかん!!だが風俗は別腹じゃと」

「もうええって、その話は終わり!!」  
「おっぱい」  
「決定なんやって!!」  
「絶対このタイトルに釣られて見に来てる奴いてるんやって、自分だって数字欲しいんやろ!?!いつまでも“週間ユニークユーザ100未満”の括りから卒業したい思ってるんやろ!?!」

「うっ……………確かに　ってダメダメ!!反対です!!断固拒否!!」

もつと民主主義に乗っ取って決め直しましょう！！！！！」

「ふーん、自分なんか良い案でもあんの??」

「あります！！一人一文字ずつ出し合ってタイトル決めるってのは  
どうですか!？」

「んー、あつそれいいね」

「寂しい奴と童貞は風俗に行け！！」

「自分アホちゃう!?!?そんなバレバレの前フリ誰も喜ばんで!?!?も  
つとこつそりやれや」

「なにが前フリなんだよー!?!?!」

「天然かツ!! ウチらの人数四人つての分かってるかあ自分!?!」

「んー、あつそういうことか。確かにそうだね」

「え!?!?え!?!?え!?!?どういうことです!?!?!」

「んー、たぶん君の順番が最後になって、“い”って言わなくちゃ  
いけないような流れになるんじゃないかな、たぶん」

「そやそや、正解」

「ん???...あつそういうことか!!一人一文字で皆が“お”っ  
”ぱ”てことね って、なんでだああ!!!!」

「うるさい、絶叫系うるさい。自分でふっというて何を言ってるんねん  
!?!」

「そうだよね、好きな単語ならまだ分かるけど、一人一文字はやり

すぎだったかもね」

「変態も風俗へ行け！！日ごろ出来ないプレイを

」

「じゃ、じゃあ！！　せめて、せめてカタカナにしましょう！！！！  
」

「なんの“せめて”や、逆におかしいわ！！　“おっぱい”にどんな  
こだわりあんねん！！」

「んー、“オツパイ”かあ、なんかアメリカンな香りというか、勢  
いのギャグみたいな香りがするね」

「揉め！！揉むんじゃ！！！！揉みだけ！！！！」

「でしょでしょ！！ちよつとギャグっぽくなるでしょ！！それでい  
きましようよ！！！！」

「もう何でもええわ、よし多数決しよか。　せーので希望のタイト  
ルを言っんやで？せーののッ！！」

「　おっぱい！！」

「　んー、おっぱい……かな」

「　おっぱい！！！！」

「　おっぱい！！」

「て、おおおおおおおおい！！！！俺の希望はどこいった？  
？文字のマジック！！！！」

こうして、今作のタイトルが「おっぱい」に決定しました。

美希マコト』よし、このタイトルで投稿しよう」と

【編集する】 【投稿する】

(クリック！)

「ああ、爺さん爺さん、これ苦情来たら……たぶんアンタの責任やで」

「なんじゃと……!」

おわり。

(後書き)

相当下品な感じになりましたが、今回のテーマは『3人以上の会話』でした。

設定などの下地が無いので、口調をあからさまに変えるしか方法がなかったのですが、難しいですね。

それと、この量を台詞だけにすると「かなり見づらい」という事が良く分かった。この辺りを今後上手く消化していきとうございます。

正直まだ3人が限界でした、爺さんは台詞を削って放置キャラにした分、インパクトを強めました……アウトだッ!!

苦情まってるよッ!!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2016t/>

---

おっばい

2011年10月8日23時33分発行